

No.155  
2024/1/31



# OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1  
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118  
E-mail: kumiai@gifunion.sakura.ne.jp  
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

## 学長に挨拶しました

11月29日(水)、天池中央執行委員長ほか6名で吉田和弘学長に対して新役員就任の挨拶に赴きました。組合からは、新たに就任した役員を紹介するとともに、職場を取り巻く諸問題について要望を出していきたいということや、大学と組合とで連携・協力できるところはそうようにしていければということ等を述べました。また、国立大学法人法改正の問題、特に運営方針会議の設置への懸念なども述べました。一方、学長からは、機構や大学の置かれている状況や課題についての話が出されました。

中央書記長 椎名貴彦



## 「国立大学法人法の一部を改正する法律」が成立

11月21日発行のオープンユニオンで報告したように、岐阜大学職員組合は、「国立大学法人法の一部を改正する法律案」に対する懸念、反対の意を示す「中央執行委員会声明 (<http://www.gifunion.sakura.ne.jp>)」を発出しました。また、京大、名大、阪大、東大の職組との共同声明も発出されました (<https://www.kyodai-union.gr.jp/seimei-4/>)。共同声明については、各種マスメディアにより、報道がなされました。

大学関係者やメディアから懸念の声が上がっていた本法案ですが、12月13日に参議院本会議で可決され、成立しました。これを受けまして、12月15日、東海国立大学機構（岐阜大と名古屋大）のほか、東北大、東大、京大、大阪大の5法人を「特定国立大学法人」に指定する政令が閣議決定されました。その結果、来年10月から予算や経営計画の決定権を持つ合議体「運営方針会議」の設置が義務付けられます。

「運営方針会議」は、委員の選出は文部科学大臣の承認を必要とするなどから、国立大学法人の自立性の問題、今後の高等教育や研究への負の影響の懸念があります。機構においてどのような委員により「運営方針会議」が構成されるのか、私たちの労働条件、職場環境にどのような影響を及ぼすのか、注視していく必要があります。

中央書記長 椎名貴彦

2023年11月10日

「国立大学法人法の一部を改正する法律案」において義務づけられた  
国立大学法人への「運営方針会議」の設置に反対します（声明）

岐阜大学職員組合中央執行委員会

「国立大学法人法の一部を改正する法律案」が閣議決定され、国会に提出されました。本法案では、事業の規模が特に大きい国立大学法人に「運営方針会議」を設置し、「運営方針会議」に中期目標・中期計画の決定権、予算・決算の決定権、学長に改善を要求する権限、学長の選考に関する事項について学長選考・監察会議に意見を述べる権限を付与すると規定しています。さらに、「運営方針会議」委員の選出は文部科学大臣の承認を必要とするとしています。そのため、「運営方針会議」を介して文部科学大臣が大学を間接的に支配することが可能になり、大学の自主性や独立性が損なわれることが懸念されます。

「運営方針会議」の設置が義務づけられる大学は政令で指定されます。新聞報道によると、東京大学、京都大学、大阪大学、東北大学に加えて、岐阜大学と名古屋大学を擁する東海国立大学機構で設置が義務づけられるとされています。

このたびの「国立大学法人法の一部を改正する法律案」は、私たちが所属する東海国立大学機構・岐阜大学に大きな影響を与えることが強く懸念されます。私たち岐阜大学職員組合中央執行委員会は、「運営方針会議」の設置義務づけに反対し、「国立大学法人法の一部を改正する法律案」の撤回、廃案を求めます。

以上

## 新旧役員親睦会を開催しました

40期が始まってしばらく経ちますが、先日11/10(金)に新旧役員の親睦会を7名の参加者を迎えて実施いたしました。

新旧役員の引き継ぎの話だけではなく、組合活動に限らない多彩な話題提供がなされ、有意義な時間を過ごすことができました。

昨期の役員の皆様お疲れ様でした。新役員一同も組合活動に尽力していきますので、今後ともサポートしていただければ幸いです。

中央執行委員 酒向隆司



## 若手忘年会を開催しました

2023年12月8日の19時から、岐阜市内の「壁の壁」で若手忘年会を開催しました。参加者は8名、男女比は5:3と程よいジェンダーバランスで、2時間の予定を大きく超過して3時間、しっかりと交流をしました。「どうして労働組合に入ったのか」という根本的なテーマで意外と盛り上がり、労働組合に対する熱い思いや、組合活動の現状や展望などを語りながら、お酒もハイペースで進みました。話したいことを話しまくって2023年の嫌なことを忘れることができたので、2024年はフレッシュな気持ちで労働組合の活動や仕事に向き合えそうです。

中央執行委員長 天池洋介



## 地域科学部支部忘年会が行われました

12月20日(水)に、地域科学部支部の忘年会が地域科学部教室で開催されました。14名ほどが参加しました。支部の交流イベントは夏のビアガーデン以来、忘年会はコロナ禍以降久しぶりの開催です。お寿司や唐揚げ、岐阜の地酒などをいただきながら、学部の状況、学生に対する指導方針、先生方の学生時代の様子、岐阜の地域情報、国立大学法人法の問題などさまざまな話をしました。「熱い」語りもあちこちの席で展開され、それぞれの先生の人となりも知ることができました。私は地域科学部に着任して2年目ですが、これまでお話しする機会がなかった先生とも交流ができ、よい機会となりました。このようなイベントがあることで、教育や研究、学内のさまざまな業務、働き方などについて交流・相談しやすくなることと思います。今回のような交流も通して、みなさまとの連携を深めていければ幸いです。

地域科学部支部 峰尾菜生子

### 『新春のつどい』開催のお知らせ

**日時:**2024年2月7日(水)18:00~

**場所:**生協第2食堂

**会費:**1000円(補助については支部役員にご確認ください)

組合事務室磯貝 (isogai@gifunion.sakura.ne.jp) までご連絡下さい。

